

対象校No.470

注4

学校コード F113310103331

注3

設置年度

令和

6年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

東京薬科大学

薬学部

薬学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人東京薬科大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 学務部 薬学事務課

職名・氏名 課長・^{イヌカイ}犬飼 ^{タカノリ}貴倫

電話番号 042-676-5864

(夜間) 042-676-5111 (代表)

e-mail yakujimu@toyaku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

薬学部

＜薬学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人東京薬科大学

(2) 大 学 名

東京薬科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒192-0392

東京都八王子市堀之内1432番地1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(クス フミヨ) 楠 文代 (平成29年10月)		(5)
学 長	(ミマキ ヨシヒロ) 三巻 祥浩 (令和5年4月)		(5)
学 部 長	(ハカマタ ヒデキ) 袴田 秀樹 (令和5年4月)		(5)
学科長等	(イノウエ カツヒサ) 井上 勝央 (令和6年4月)		(5)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)

令和6年度に報告する内容 → (6)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設置時の計画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
薬学部 薬学科 学士(薬学)	薬学関係	6 年	420 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	2520 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に入力してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	420人 () []	人 () []	-	1.09倍	-倍	
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	2678 () [28]	人 () []				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	2550 () [25]	人 () []				
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1008 () [7]	人 () []				
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	459 () [3]	人 () []				
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.09	-				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択)
・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・ 「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	496 (37)	- (-)	
2 年次			[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	
3 年次					[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	
4 年次							[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	
5 年次									[] ()	[] ()	- (-)	- (-)	
6 年次											- (-)	- (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	496 [4] (37)	- (-)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留學生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	496 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{496} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<薬学部 薬学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	一般教養科目	データサイエンス入門	1前	1.5			1	1	1		1
		数学Ⅰ	1前	1			1				
		薬剤疫学入門	1後	1		1			3		1
		医療統計学	1後	1.5			1				
		小計(4科目)	—	5	0	0	1	1	1	3	1
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1			1				3
		英語Ⅱ	1後	1			1				3
		英語Ⅲ	2前	1			2				4
		英語Ⅳ	2後	1			2				4
		小計(4科目)	—	4	0	0	2				7
共通専門科目	社会と薬学	人間と薬学Ⅰ	1前	1			4	2		1	
		人間と薬学Ⅱ	1前	1			5			1	
		人間と薬学Ⅲ	1後	1			5	2		3	
		医療コミュニケーション	2前	1			1				1
		社会と薬学	2後	1.5			1				
		医療倫理学	3前	1.5			1				
		薬事関係法規と制度Ⅰ	3後	1.5			1				
		薬事関係法規と制度Ⅱ	4前	1			3				1
		医療プロフェッショナリズム	5後	1			3				
		小計(9科目)	—	10.5	0	0	6	4		3	2
	物理系薬学	基礎物理学	1前	1.5			2		1		
		無機化学・放射化学	1前	1.5			3		1		
		化学平衡論	1前	1.5			1	1			
		物理化学Ⅰ	1後	1.5			2			1	
		分析化学	1後	1.5				2		1	
		機器分析学	2前	1.5			1	1		1	
		臨床分析化学	2前	1.5			1	1			
		物理化学Ⅱ	2前	1			1	1	1		
		小計(8科目)	—	11.5	0	0	7	3	2	3	
	化学系薬学	基礎有機化学	1前	1			1		1		
		有機化学Ⅰ	1後	1.5			1		1		
		有機化学Ⅱ	1後	1			1	1	1		
		有機化学Ⅲ	2前	1.5			1	1	1		
		有機化学Ⅳ	2後	1.5			1	1		1	
		有機化学Ⅴ	3前	1			1	1		1	
		生体分子の化学	3後	1.5				1	1	1	1
		小計(7科目)	—	9	0	0	3	3	3	2	1
	生薬系薬学	生薬学	2後	1.5				2	1	1	
		漢方薬物学Ⅰ	3前	1.5			1	1	1		
		小計(2科目)	—	3	0	0	1	2	1	1	
	生物系薬学	細胞生物学	1前	1				1	1	1	
		機能形態学Ⅰ	1前	1.5			1	1	1	1	
		生化学Ⅰ	1後	1.5			1	2	1		
		機能形態学Ⅱ	1後	1.5			2	1	1	1	
		生化学Ⅱ	2前	1.5			1	1		1	
		機能形態学Ⅲ	2前	1.5			1	1	1	1	
		微生物学	2前	1.5			1				
		生化学Ⅲ	2後	1.5				3	1		
		免疫学	2後	1.5			1	1	1	1	
		バイオ医薬	3前	1.5			1	1			
		小計(10科目)	—	14.5	0	0	6	6	3	4	
医療薬学	薬理・病態・薬物治療	薬理学入門	1後	1.5			1	1	1		
		薬理学Ⅰ	2前	1.5			1	1	1		
		病態生理学概論	2前	1			1	1			
		薬理学Ⅱ	2後	1.5			1				
		病態・薬物治療Ⅰ	2後	1.5			1		1	1	
		薬理学Ⅲ	3前	1.5			1	1			

【令和6年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
総合科目	一般教養科目	データサイエンス入門	1前	1.5			1		1	1	1
		数学Ⅰ	1前	1			1				
		薬剤疫学入門	1後	1			1			3	1
		医療統計学	1後	1.5				1			
		小計(4科目)	—	5	0	0	1	1	1	3	1
	外国語科目	英語Ⅰ	1前	1			1	1			3
		英語Ⅱ	1後	1			1	1			3
		英語Ⅲ	2前	1				2			4
		英語Ⅳ	2後	1				2			4
		小計(4科目)	—	4	0	0	2	1			7
共通専門科目	社会と薬学	人間と薬学Ⅰ	1前	1			4	2		1	
		人間と薬学Ⅱ	1前	1			5			1	
		人間と薬学Ⅲ	1後	1			5	2		3	
		医療コミュニケーション	2前	1			1				1
		社会と薬学	2後	1.5			1				
		医療倫理学	3前	1.5			1				
		薬事関係法規と制度Ⅰ	3後	1.5			1				
		薬事関係法規と制度Ⅱ	4前	1			3				1
		医療プロフェッショナリズム	5後	1			3				
		小計(9科目)	—	10.5	0	0	6	4		3	2
	物理系薬学	基礎物理学	1前	1.5			2		1		
		無機化学・放射化学	1前	1.5			3		1		
		化学平衡論	1前	1.5			1	1			
		物理化学Ⅰ	1後	1.5			2			1	
		分析化学	1後	1.5				2		1	
		機器分析学	2前	1.5			1	1		1	
		臨床分析化学	2前	1.5			1	1			
		物理化学Ⅱ	2前	1			1	1	1		
		小計(8科目)	—	11.5	0	0	7	3	2	3	
	化学系薬学	基礎有機化学	1前	1			1		1		
		有機化学Ⅰ	1後	1.5			1		1		
		有機化学Ⅱ	1後	1			1	1	1		
		有機化学Ⅲ	2前	1.5			1	1	1		
		有機化学Ⅳ	2後	1.5			1	1		1	
		有機化学Ⅴ	3前	1			1	1		1	
		生体分子の化学	3後	1.5				1	1	1	1
		小計(7科目)	—	9	0	0	3	3	3	2	1
	生薬系薬学	生薬学	2後	1.5				2	1	1	
		漢方薬物学Ⅰ	3前	1.5			1	1	1		
		小計(2科目)	—	3	0	0	1	2	1	1	
	生物系薬学	細胞生物学	1前	1				1	1	1	
		機能形態学Ⅰ	1前	1.5			1	1	1		
		生化学Ⅰ	1後	1.5			1	2	1		
		機能形態学Ⅱ	1後	1.5			2	1	1		
		生化学Ⅱ	2前	1.5			1	1		1	
		機能形態学Ⅲ	2前	1.5			1	1	1		
		微生物学	2前	1.5			1				
		生化学Ⅲ	2後	1.5				3	1		
		免疫学	2後	1.5			1	1	1	1	
		バイオ医薬	3前	1.5			1	1			
		小計(10科目)	—	14.5	0	0	6	6	3	3	
医療薬学	薬理・病態・薬物治療	薬理学入門	1後	1.5			1	1	1		
		薬理学Ⅰ	2前	1.5			1	1	1		
		病態生理学概論	2前	1				1	1		
		薬理学Ⅱ	2後	1.5			1				
		病態・薬物治療Ⅰ	2後	1.5			1		1	1	
		薬理学Ⅲ	3前	1.5				1	1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通専門科目	薬理・病態・薬物治療	病態・薬物治療学Ⅱ	3前	1.5		1		3			
		病態・薬物治療学Ⅲ	3前	1.5		1		2			
		薬理学Ⅳ	3後	1.5			1	1			
		病態・薬物治療学Ⅳ	3後	1.5		1			2		
		病態・薬物治療学Ⅴ	3後	1.5		2	1		2		
		病態・薬物治療学Ⅵ	3後	1.5		1		1			
		感染症と抗微生物薬	3後	1.5		1			1		
		臨床推論Ⅰ	4前	1		1					
		小計(14科目)	—	20	0	0	8	3	7	6	
	医薬品情報	医薬品情報学	3後	1.5				1	1	1	
		医薬品情報学演習	4前	1				1	1	2	1
		小計(2科目)	—	2.5	0	0		1	1	2	1
	薬剤	薬剤学入門	1前	1		4					
		物理薬剤学	2後	1.5		2		2			
		基礎薬剤学	2後	1		3					
		製剤設計学	3前	1.5		1	1	1			
		生物薬剤学	3前	1.5		1		2			
		個別化医療Ⅰ	3後	1.5		1	1	1	1		
		薬物送達学	3後	1		1		1			
		薬物動態学	4前	1		2	1	3	1		
		小計(8科目)	—	10	0	0	4	2	5	1	
	衛生薬学	衛生薬学Ⅰ	2前	1		1	1	1			
		衛生薬学Ⅱ	2後	1.5		2	1	1			
		衛生薬学Ⅲ	2後	1.5		1	1				
		衛生薬学Ⅳ	3前	1		2					
		衛生薬学Ⅴ	3前	1.5		1		1	1		
		衛生薬学Ⅵ	3後	1		1		1	1		
		感染制御学	4前	1		1			1		
		小計(7科目)	—	8.5	0	0	6	2	2	2	
	臨床薬学	一般用医薬品学	4前	1.5		1	1		1		
		調剤学	4前	1.5		1					
		医療安全性評価学	4前	1.5		3	2				
		個別化医療Ⅱ	4前	1.5		1	1	1	1		
		病態栄養管理学	4前	1		2	1				
		実務実習事前学習Ⅰ	4前	4		2	5	5	1		
		実務実習事前実習	4前	3		7	8	8	6	1	
		実務実習事前学習Ⅱ	4後	1		5	7	7	4		
		実務実習	5	20							
		小計(9科目)	—	35	0	0	9	8	8	7	1
	薬学演習	薬学演習Ⅰ	2後	1		4		1			
		薬学演習Ⅱ	4前	2		4					
		薬学演習Ⅲ	4後	4		3	1	1			
		薬学演習Ⅳ	6前	2		3					
		アドバンス薬学演習	6後	4.5		3					
		総合薬学演習	6後	1		3					
		小計(6科目)	—	14.5	0	0	5	1	1		
	薬学実習・課題研究	基礎薬学実習Ⅰ	1後	1		2	2	2	2		
		基礎薬学実習Ⅱ	1後	1		2	2	1	2	1	
		基礎薬学実習Ⅲ	2前	1		1	3	2	1	1	
		基礎薬学実習Ⅳ	2前	1		2	2		4	1	
		基礎薬学実習Ⅴ	2後	1		2	2	2	2		
		基礎薬学実習Ⅵ	2後	1		2	3		2	2	
		医療薬学実習Ⅰ	3前	1		3	1	2		1	
		医療薬学実習Ⅱ	3前	1		3	1	1	2	1	
		医療薬学実習Ⅲ	3前	1		1	2	1	1		
		医療薬学実習Ⅳ	3後	1		2	1	3			
		衛生薬学実習	3後	1		4	3	2	2		
		卒業研究	4～6前	12		40	32	28	28	8	
		小計(12科目)	—	23	0	0	40	32	28	28	8
総合科目	一般教養科目	障がい論	1前・後		1						1
		法学	1・2前・後		1						1
		社会学	1前		1						1
		倫理学	1・2前		1		1				

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通専門科目	薬理・病態・薬物治療	病態・薬物治療学Ⅱ	3前	1.5		1		3			
		病態・薬物治療学Ⅲ	3前	1.5		1		2			
		薬理学Ⅳ	3後	1.5			1	1			
		病態・薬物治療学Ⅳ	3後	1.5		1			2		
		病態・薬物治療学Ⅴ	3後	1.5		2	1		2		
		病態・薬物治療学Ⅵ	3後	1.5		1		1			
		感染症と抗微生物薬	3後	1.5		1			1		
		臨床推論Ⅰ	4前	1		1					
		小計(14科目)	—	20	0	0	8	3	7	6	
	医薬品情報	医薬品情報学	3後	1.5				1	1	1	
		医薬品情報学演習	4前	1				1	2	1	
		小計(2科目)	—	2.5	0	0		1	2	1	
	薬剤	薬剤学入門	1前	1		4	1	2	1		
		物理薬剤学	2後	1.5		2		2			
		基礎薬剤学	2後	1		3					
		製剤設計学	3前	1.5		1		1			
		生物薬剤学	3前	1.5		1		2			
		個別化医療Ⅰ	3後	1.5		1	1	1	1		
		薬物送達学	3後	1		1		1			
		薬物動態学	4前	1		2	1	3	1		
		小計(8科目)	—	10	0	0	4	1	5	1	
	衛生薬学	衛生薬学Ⅰ	2前	1		1	1	1			
		衛生薬学Ⅱ	2後	1.5		2	1	1			
		衛生薬学Ⅲ	2後	1.5		1	1				
		衛生薬学Ⅳ	3前	1		2					
		衛生薬学Ⅴ	3前	1.5		1		1	1		
		衛生薬学Ⅵ	3後	1		1		1	1		
		感染制御学	4前	1		1			1		
		小計(7科目)	—	8.5	0	0	6	2	2	2	
	臨床薬学	一般用医薬品学	4前	1.5		1	1		1		
		調剤学	4前	1.5		1			1		
		医療安全性評価学	4前	1.5		3	2				
		個別化医療Ⅱ	4前	1.5		1	1	1	1		
		病態栄養管理学	4前	1		2	1				
		実務実習事前学習Ⅰ	4前	4		2	6	6	1		
		実務実習事前実習	4前	3		7	9	10	6	1	
		実務実習事前学習Ⅱ	4後	1		5	8	8	4		
		実務実習	5	20							
		小計(9科目)	—	35	0	0	9	9	10	7	1
	薬学演習	薬学演習Ⅰ	2後	1		4		1			
		薬学演習Ⅱ	4前	2		4					
		薬学演習Ⅲ	4後	4		3	1	1			
		薬学演習Ⅳ	6前	2		3					
		アドバンス薬学演習	6後	4.5		3					
		総合薬学演習	6後	1		3					
		小計(6科目)	—	14.5	0	0	5	1	1		
	薬学実習・課題研究	基礎薬学実習Ⅰ	1後	1		2	2	2	1		
		基礎薬学実習Ⅱ	1後	1		2	2	1	2	1	
		基礎薬学実習Ⅲ	2前	1		1	3	2	1	1	
		基礎薬学実習Ⅳ	2前	1		2	2		4	1	
		基礎薬学実習Ⅴ	2後	1		2	2	2	2		
		基礎薬学実習Ⅵ	2後	1		2	3		2	2	
		医療薬学実習Ⅰ	3前	1		3	1	2		1	
		医療薬学実習Ⅱ	3前	1		3	1	1	3	1	
		医療薬学実習Ⅲ	3前	1		1	2	1	1		
		医療薬学実習Ⅳ	3後	1		2	1	3	2		
		衛生薬学実習	3後	1		4	3	2	3		
		卒業研究	4～6前	12		40	32	30	31	8	
		小計(12科目)	—	23	0	0	40	32	30	31	8
総合科目	一般教養科目	障がい論	1前・後		1						1
		法学	1・2前・後		1						1
		社会学	1後		1						1
		倫理学	1・2前		1		1				

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	一般教養科目	哲学概論	1・2後	1							1
		現代経済論	1前	1							2
		美術・デザイン	1・2前	1							1
		文章表現	1・2前・後	1							1
		健康スポーツ	1後	1							1
		アントレプレナーシップ概論	2前	1		2	3	1			
		基礎栄養学	1前	1		1					
		食品・ヘルスケアⅠ	2前	1		3	2	1	1		
		地球環境概論	1後	1		1		1			1
		薬学のあゆみ	1前	1			2				
		病気とくすり	1前	1		1	1	1			
		ヘルスプロモーション概論	1・2後	1							1
		数学Ⅱ	2前	1			1				
		数学を巡る世界	1・2後	1			1				
		線型代数学	2後	1			1				
		医療情報学	1後	1					1		
		コンピュータシミュレーションの基礎	1後	1		1			2		
		データサイエンティストへの統計学	2前	1			1				
		データベース・統計演習	1後	1				1	1		1
		医薬品情報学入門	2後	1			1	1			
		量子化学入門	1・2後	1		1					
		物理化学系創薬基盤演習Ⅰ	2後	1		3	1	1	1		
		薬用植物学	2前	1			1		1		
		リプロダクティブヘルス入門	2前	1		1	1	1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅰ	2前	1		1		1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅱ	2後	1		1		1			
	小計(30科目)	—	0	30	0	11	11	7	6		12
外国語科目	英語検定Ⅰ	英語検定Ⅰ	1・2前	1		1					2
		英語検定Ⅱ	1・2後	1		1					2
		英会話Ⅰ	1・2前	1		1					2
		英会話Ⅱ	1・2後	1		1					2
		ドイツ語Ⅰ	1・2前	1							2
		ドイツ語Ⅱ	1・2後	1							1
		中国語Ⅰ	1・2前	1							1
		中国語Ⅱ	1・2後	1							1
		フランス語Ⅰ	1・2前	1		1					
		フランス語Ⅱ	1・2後	1		1					
		小計(10科目)	—	0	10	0	2				7
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	2前	1		8	4	5	2	1	
	ゼミナール	ゼミナールⅡ	2後	1		9	6	3	8		1
	小計(2科目)	—	0	2	0	16	8	8	9	1	1
専門科目	薬学専門科目Ⅰ	反応有機化学	3前	1		1					
		実践有機化学	3後	1		1					
		アドバンス有機化学	3後	1		1					
		分析化学演習Ⅰ	3前	1		2	2		3	1	
		代謝生化学	3前	1		1			3		
		香粧品科学	3前	1		1					
		創薬薬理学演習	3前	1		4	2	5	1		
		医療統計特論	3前	1		1			1		1
		薬剤経済学	3後	1							1
		分子動力学	3前	1		1			1		
		生物物理	3後	1		1			1		
		漢方薬物学Ⅱ	3後	1		2	2	1	1		
		スクンケア入門	3後	1		1					
		臨床開発概論	3後	1		1					
		臨床薬学概論	3前	1		1	1	2			
		地域保健薬学概論	3後	1			1				
		プライマリケアⅠ	3後	1		2	1		1		
		治験英語	3前	1				1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅲ	3前	1		1		1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅳ	3後	1		1		1			
	小計(20科目)	—	0	20	0	16	10	9	12	1	2

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	一般教養科目	哲学概論	1・2後	1							1
		現代経済論	1前	1							2
		美術・デザイン	1・2前	1							1
		文章表現	1・2前・後	1							1
		健康スポーツ	1前	1							1
		アントレプレナーシップ概論	2前	1		2	3	1			
		基礎栄養学	1前	1		1					
		食品・ヘルスケアⅠ	2前	1		3	2	1	1		
		地球環境概論	1後	1		1					2
		薬学のあゆみ	1前	1			2				
		病気とくすり	1前	1		1	2	1			
		ヘルスプロモーション概論	1・2後	1							1
		数学Ⅱ	2前	1			1				
		数学を巡る世界	1・2後	1			1				
		線型代数学	2後	1			1				
		医療情報学	1後	1					1		
		コンピュータシミュレーションの基礎	1後	1		1			2		
		データサイエンティストへの統計学	2前	1			1				
		データベース・統計演習	1後	1				1	1		1
		医薬品情報学入門	2後	1				1			
		量子化学入門	1・2後	1		1					
		物理化学系創薬基盤演習Ⅰ	2後	1		3	1	1	1		
		薬用植物学	2前	1			1		1		
		リプロダクティブヘルス入門	2前	1		1	1	1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅰ	2前	1		1		1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅱ	2後	1		1		1			
	小計(30科目)	—	0	30	0	11	11	7	6		13
外国語科目	英語検定Ⅰ	英語検定Ⅰ	1・2前	1		1	1	1			2
		英語検定Ⅱ	1・2後	1		1	1	1			2
		英会話Ⅰ	1・2前	1		1	1				2
		英会話Ⅱ	1・2後	1		1	1				2
		ドイツ語Ⅰ	1・2前	1							2
		ドイツ語Ⅱ	1・2後	1							1
		中国語Ⅰ	1・2前	1							1
		中国語Ⅱ	1・2後	1							1
		フランス語Ⅰ	1・2前	1		1					
		フランス語Ⅱ	1・2後	1		1					
		小計(10科目)	—	0	10	0	2	1			7
	ゼミナール	ゼミナールⅠ	2前	1		8	4	5	2	1	
	ゼミナール	ゼミナールⅡ	2後	1		9	6	3	8		1
	小計(2科目)	—	0	2	0	16	8	8	9	1	1
専門科目	薬学専門科目Ⅰ	反応有機化学	3前	1		1					
		実践有機化学	3後	1		1					
		アドバンス有機化学	3後	1		1					
		分析化学演習Ⅰ	3前	1		2	2		3	1	
		代謝生化学	3前	1		1			3		
		香粧品科学	3前	1		1					
		創薬薬理学演習	3前	1		4	2	5	1		
		医療統計特論	3前	1		1			1		1
		薬剤経済学	3後	1							1
		分子動力学	3前	1		1			1		
		生物物理	3後	1		1			1		
		漢方薬物学Ⅱ	3後	1		2	2	1	1		
		スクンケア入門	3後	1		1					
		臨床開発概論	3後	1		1					
		臨床薬学概論	3前	1		1	1	2			
		地域保健薬学概論	3後	1			1				
		プライマリケアⅠ	3後	1		2	1		1		
		治験英語	3前	1				1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅲ	3前	1		1		1			
		未来薬学創造研究(基礎)Ⅳ	3後	1		1		1			
	小計(20科目)	—	0	20	0	16	9	9	12	1	2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例: 記載順) 【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和6年度】

- ・教育内容の充実の理由により、「英語Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「機能形態学Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「機能形態学Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「機能形態学Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「医薬品情報学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「医薬品情報学演習」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「薬剤学入門」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師2」、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「製剤設計学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「調剤学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「実務実習事前学習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」、「講師5」から「講師6」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「実務実習事前実習」の専任教員等の配置を「准教授8」から「准教授9」、「講師8」から「講師10」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「実務実習事前学習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授8」、「講師7」から「講師8」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「基礎薬学実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「基礎薬学実習Ⅴ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「医療薬学実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「医療薬学実習Ⅳ」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教2」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「衛生薬学実習」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に変更。
- ・担当者の変更の理由により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「講師28」から「講師30」、「助教28」から「助教31」に変更。
- ・担当者の変更の理由により、「社会学」の開講期を「1前」から「1後」に変更。
- ・担当者の変更の理由により、「健康スポーツ」の開講期を「1後」から「1前」に変更。
- ・担当者の変更の理由により、「地球環境概論」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」、「兼任・兼任1」から「兼任・兼任2」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「病気とくすり」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「医薬品情報学入門」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語検定Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「英語検定Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「創薬薬理学演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「医薬品情報学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「薬剤系創薬基盤科学演習」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・就任辞退の理由により、「臨床薬理学特論」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「アドバンスゼミナールⅠ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授5」、「助教0」から「助教1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
102 科目	104 科目	12 科目	218 科目	102 科目 []	104 科目 []	12 科目 []	218 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎・展開・職業専門・総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{218} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	100,898㎡	0㎡	0㎡	100,898㎡				
	運動場用地	13,153㎡	0㎡	0㎡	13,153㎡				
	小 計	114,051㎡	0㎡	0㎡	114,051㎡				
	そ の 他	168,085㎡	0㎡	0㎡	168,085㎡				
	合 計	282,136㎡	0㎡	0㎡	282,136㎡				
(2)校舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		67,372㎡ (67,372㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	67,372㎡ (67,372㎡)				
(3)教室等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 講義室統合のための減少 (6)		
		52室 53室	23室	22室	1室 (補助職員0人)	1室 (補助職員0人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数		組織編制のための増加 (6)		
		薬学部 薬学科			43 42 室				
(5)図書・設備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	学部単位での特定不能 なため、大学全体の数 図書・学術雑誌・視聴 覚資料の見直しのため (6)	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点					
	薬学部薬学科	107,768 [39,527] (108,463 [36,617]) -(106,286 [37,857])	962 [517] (942 [497]) -(958 [517])	7,672 [5,842] (6,400 [4,823]) -(7,349 [5,719])	486 (1,001) -(864)	0 0	0 0		
	計	107,768 [39,527] (108,463 [36,617]) -(106,286 [37,857])	962 [517] (942 [497]) -(958 [517])	7,672 [5,842] (6,400 [4,823]) -(7,349 [5,719])	486 (1,001) -(864)	0 0	0 0		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		面積：一部事務室として 利用するため (6) 収納可能冊数：書架棚 内の棚板数調整のため (6)	
		1,755㎡ 1,846㎡		570		115,278 119,351			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		2,507㎡		多目的グラウンド 1面		テ ニ ス コ ー ト 4 面			
(8)経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費には電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コストを含む）を含 む。 電子ジャーナル利用費 用、設備・備品更新等 の諸経費増額のため (6)
		教員 1 人 当 り 研究費等	400千円	400千円	図書購入費	104,850千円	109,191千円 104,850千円	104,850千円	
		共 同 研 究 費 等	8,000千円	8,000千円	設備購入費	285,970千円	332,682千円 285,970千円	285,970千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	電子ジャーナル利用費 用、設備・備品更新等 の諸経費増額のため (6)	
		2,340千円	1,940千円	1,940千円	1,940千円	1,940千円	1,940千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、付随事業収入、資産運用収入等					

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「（8）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	東 京 薬 科 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
薬学部										-				
薬学科	6	420	0	2520	学士 (薬学)	1.18	-	-	令和6	東京都八王子市堀之内1432番地1				
医療薬学科	6	-	-	-	学士 (薬学)	-	-	-	平成18	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
医療薬物薬学科	6	-	-	-	学士 (薬学)	-	-	-	平成18	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
医療衛生薬学科	6	-	-	-	学士 (薬学)	-	-	-	平成18	同上	令和6年度入学生より学生募集停止			
生命科学部			3年次											
分子生命科学科	4	70	1	282	学士 (生命科学)	1.12	-	-	平成25	同上				
応用生命科学科	4	60	1	242	学士 (生命科学)	1.10	-	-	平成25	同上				
生命医学科	4	90	1	362	学士 (生命科学)	1.09	-	-	平成25	同上				
薬学研究科														
薬科学専攻修士課程	2	5	-	10	修士 (薬科学)	0.90	-	-	平成22	同上				
薬学専攻博士課程	4	10	-	40	博士 (薬学)	1.37	-	-	平成24	同上				
生命科学研究科														
生命科学専攻博士前期課程	2	65	-	130	修士 (生命科学)	1.15	-	-	平成10	同上				
生命科学専攻博士後期課程	3	10	-	30	博士 (生命科学)	0.83	-	-	平成12	同上				

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

※個人情報が含まれるため非公開（16～36ページ）

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和5年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（５）（６）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（６）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<薬学部 薬学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記載すべき変更事項等はなし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学組織の「FD実施委員会」、「自己点検・評価、内部質保証委員会」、学部内の「自己点検・評価 内部質保証実施委員会」および「薬学部FD委員会」が設置されており、学部および大学院の自己点検・評価を恒常的に行なっている。さらに、薬学部各専任教員は毎年自己点検評価書を作成しており、この評価書では授業評価アンケートの結果を次年度以降に取り組むべき課題として活用し、教育能力の向上に役立てている。また、各専任教員の上長に相当する教員が自己点検評価書を確認し、助言するPDCAサイクルが構築されており、必要に応じて学部長、学科長が担当教員に助言・対応することになっている。なお、原則1か月に1回開催される教授総会では、報告事項に「FD・SD関連」が設けられ、種々のFD活動の報告等を通じて教員の教育研究活動に対する啓発を組織的に行っている。研究成果に関しては、学部内に研究年報編集委員会が設置されており、毎年研究年報を作成して研究面での評価が行われている。

教員評価については、薬学部教員評価委員会が設置され、すべての教員に対して「教育および運営」および「研究業績」の観点から評価を実施している。

なお、全学的なガバナンスの統括機構である「教育研究審議会」では、教学に関する重要事項を審議し、最終決定している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・教授総会は月1～2回のペースで開催し、助教以上の全教員が参加する。
- ・FD実施委員会は年間3～5回開催。
- ・自己点検・評価、内部質保証委員会は2ヶ月に1回のペースで開催。
- ・自己点検・評価 内部質保証実施委員会および薬学部FD委員会は年3～5回開催。
- ・教育研究審議会は月1回～2回開催され、学長、副学長、学長補佐、学生部長、事務局長などが参加する。

c 委員会の審議事項等

FD実施委員会およびFD委員会では、大学教育（教育制度改革や教育プログラムの改善など）に関する最新トピックスをテーマとして研修会やワークショップを行う。今後、本学が担う役割や方針等を協議した上で、教育環境・社会情勢を踏まえたテーマの選定、外部・内部講師の招聘、研修内容のフィードバックなどについて審議する。

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業アンケートの実施（全科目）
- ・全学FDワークショップ
- ・FD研修会
- ・新人教員対象教育ワークショップ
- ・実務家教員の臨床研修
- ・UCSF等での教員の国際化と教育資質の研鑽
- ・学校薬剤師の兼任 等

b 実施方法

- ・FD実施委員会では、毎年8月に2日間もしくは1日で全学FDワークショップを実施し、学内の教育研究上の課題を検討するとともに、最新の教育および教育を取り巻く社会的な変化について講演等をもとに情報共有している。第1日目は外部講師を招聘して全学教員視聴可能な講演を実施した後、選抜された教員が参加するワークショップを実施する。第2日目は、外部講師による講演と学内教員による本学の現状についての講演を実施し、その後選抜された教員が参加するグループワークを実施する。全ワークショップ終了後、参加者は報告書を作成し提出している。
- ・年度はじめには、新入教員を対象としたワークショップを開催し、学長ならびに学部長から、本学が期待する教員像について提示するとともに、カリキュラムプランニング等を通じて教育に関する基本的な知識・技能・態度を共有している。
- ・薬学部FD委員会では、毎年全科目に対して授業評価アンケートを実施している。
- ・実務家教員は病院薬剤部と連携し、定期的に病棟活動を行なっている。学校薬剤師を兼任している教員も薬剤師としての活動を実践しながら薬学教育にフィードバックしている。その他、カルフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）等で教員の国際化と教育資質の研鑽を行なっている。
- ・FD活動の一環として各専任教員が各年度ごとに「教育・研究等の活動記録および自己点検・評価」を行い、その自己点検結果を評価書として作成、提出している。この各教員が作成する自己点検評価書（活動記録）では、自身の教育および研究業績について自己評価するとともに、各専任教員の上長に相当する教員が自己点検評価書を確認し、助言するPDCAサイクルを構築し、教育研究活動の向上に努めている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FDワークショップでの講演（研修会）は、全学教職員が聴講可能である。その後のワークショップ・グループワークは、各学部の約1/3の教員が毎年選抜され、出席のローテーションが組まれている。
- ・新入教員ワークショップには年度毎に行われ、学長、副学長、各学部長、およびFD実施委員会委員も参加する。
- ・授業アンケートは毎年前期・後期の全科目に対して行われる。
- ・実務家教員の研修は、学内業務や実習の繁忙期を避けながら、若干名ずつ実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

薬学部授業評価アンケートは、すべての講義および実習について、前後期ともに各1回実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

毎年前期および後期に行われる学生による授業評価アンケートは、FD委員会より結果の概評を教授総会で報告するとともに、ホームページで公表している。結果の詳細は、各授業担当教員全員に配布し、フィードバックしている。各教員はこのアンケート結果を踏まえ、学習効果の改善に活かす活動をしている（自己点検評価書）。集計結果はホームページでの公表とともに学内に掲示することで学生に対してもフィードバックしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和6年度の薬学部薬学科の入学者数は459名であり、入学定員420名を確保できている。また、令和6年度の志願者総数は前年度を超え、直近10年間と比較しても安定的に推移しているといえる。その他、入学者数、入学定員充足率も安定して推移している。薬剤師職能の高度化が一層求められ、様々な領域で専門性を発揮し活躍できる薬剤師の養成に取り組む必要性が増してきた。その中で、薬剤師養成のみならず、創薬科学や基礎薬学の分野における人材育成と研究体制の構築を念頭に、これまでの3学科を廃して1学科（薬学科）に統合した本学の趣旨および目的は、概ね受験生やその周囲にも伝わっていると考えられる。設置後初年度のため今後の動向を注視していく必要があるが、1学科に統合した意図が、年次進行とともに新カリキュラムを通じて、学生諸氏ならびに保証人に浸透していくよう一層注力することとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年11月

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和6年11月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・ 令和5年に薬学教育評価機構の第三者評価を受審し、「適合」と認定された（認定期間：2024年（令和6年）4月1日から2031（令和13年）3月31日まで）
- ・ 令和9年に大学基準協会の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。